

「新たなレベル分類に対する道の考え方について」に対する主な意見

1 有識者・専門家の意見

1-①

レベル分類について、数値を示すなど客観的で分かりやすいことが重要。例えば「呼びかけ」とはどういうものか。天気予報の注意報と警報の違いのように、強弱をつけて道民へのメッセージを分かりやすくしてほしい。

札幌市を対象としたレベル運用について、札幌市への通勤や通学圏を考えると、札幌市内だけではなく、札幌圏を対象とすることを検討すべき。

1-②

レベル2とレベル3の区分は流動的で現場では実感できない。区別することはできない。

予測ツールについては、これまで政府分科会の予測が当たったことはないので、使わない方がよい3週間後の予測は無理。

レベル分類に関しては、必要な対策を地域で決めて良いとのことであり、今までの経験と蓄積されたデータに加え、ワクチン接種や治療薬などをもとに道独自の指標を作ることを望む。

1-③

レベル分類に対する道の考え方について、異論は無い。

道民に分かりやすい基準、数値を示すことがベスト。札幌市を対象としたレベル運用や地域個別の対策は、自治体と協議しながら進めて欲しい。

1-④

現在、重症化率、死亡率が下がっているのは明らかであり、国が医療のひっ迫度合いをより重要視することは妥当。

北海道は、全国で一番長く、大きくコロナの影響を受けている。医療提供体制の確保に努めることを基本に、経済活動の再開へ取組を進めてもらいたい。

1-⑤

レベル分類に対する道の考えとして新規感染者数等の指標のモニタリングを継続すること、札幌市を対象とするレベル運用を重視すること、地域を限定した対策を個別に検討することは、いずれも必要かつ合理的であり、賛成。

1-⑥

レベル分類について、国に対しては客観的な数値を求めてほしい。また、道民に対して分かりやすい、理解と納得が得られる情報発信が重要。

地域運用の考え方は理にかなっている。医療ひっ迫に重点を置くことは理解できるし、札幌市を対象としたレベル運用も重要。

1-⑦

レベル分類について、感染状況と医療提供体制は明確な指標がほしい。対策イメージについて、レベル0～2、2～3、3で重なっている部分がある。はっきりと分かるようにした方が理解されるのではないか。

1-⑧

レベル分類については、今のところ国から数値が示されていないため、今後、具体的な数字が示されることを期待。

今後、3次医療圏ごとの感染状況等を踏まえた医療の対応が必要ではないか。

3週間後の状況を考えてベッド数の調整をするのは難しい。3週間とした意味が分からない。早め早めの対応をすべきと理解。

1-⑨

第6波で急激な感染者の増加が起きたときに、新たな基準では速やかに対策が実施されないのではないかと、道民が不安になる懸念。

認証店と非認証店、ワクチン・検査パッケージの違いなど、現場での混乱が懸念。

制度の見直しがなぜ必要か、日常の回復の形がどういうものか、今のうちに整理しておくべき。

1-⑩

国の方針に基づいた内容で特に異論なし。

## 2 市町村・関係団体の意見

2-①

「札幌市を対象としたレベル運用」について言及されているが、札幌市に隣接する市町村についても、人の往来など一体の地域性を有していることを考慮し、札幌市と同等又は同市に準じたレベル運用について検討いただくようお願いする。

2-②

新たなレベル分類に対する考え方に異存はないが、特措法ではまん延防止等重点措置の区域等を決定するのは政府（対策本部長）であり、まん延防止等重点措置の対象となるレベル分類（レベル2）の指標を都道府県が具体的に設定することで、レベル2の状態が生じることが予見される際に混乱が生じないように、国と緊密に連携して対処するようお願いする。

2-③

国の基本的な考え方や新たなレベル分類の考え方には、国・自治体が行う措置内容と国民の行動に関わる部分とがそれぞれ一覧表で分かりやすく明記されている。

道においても、図表等活用し、分かりやすく、漏れのない考え方を明示され、官民が一体となって取り組めるようお願いする。

医療ひっ迫状況を重視すること踏まえれば、入院率（特に中等症以上）も判断指標のひとつとしてご検討いただきたい。加えて、レベル2には、まん延防止等重点措置の発令も想定されている。

「レベル2への引上げ」と合わせ、「まん延防止等重点措置の発令」の2段階の判断指標を設けていただきたい。

これまで、札幌市以外にも感染拡大地域が散発的に発生してきたことや、8月のまん延防止等重点措置発令時には、石狩管内・小樽市、旭川市が後追いで措置区域に追加されてきたことから、タイミングを逸することなくスピーディーかつ柔軟に対応する体制が重要と考える。行政区域等に関わらず、地域毎に、実情に即した細やかな運用を最優先としていただきたい。